

## E-MAC技術研修センターの概要

名神高速道路が初めて開通してから約50年を迎え、同様に東名高速道路も約43年が経過しました。中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社は、高速道路の電気・通信・機械設備等の点検および故障修理を担っており、故障の修理・対応については、多くの経験を積み重ねることによって高度なスキルを身に付けることができました。しかし、現場では、故障が起きないことが望まれており、また予防保全を進めた結果、設備の故障が減り、現場でのスキルアップの機会が少なくなってきました。

そこで、設備の更新に伴い発生した古い機材を再活用して、故障修理のスキルアップを図ることを考えました。古い機材に故障発生メカニズムを組み込めば、フィールド以外での故障修理の経験を積むことができます。これにより、随時効率的に、故障修理の場面を経験することが可能になります。

昨今、団塊世代の社員が退職期を迎え、熟練技術者から現役、特に若い世代への技術の伝承が急務です。より現場に即した技術を若手に伝承する場として、技術研修センターを開設するものです。

名称 E-MAC技術研修センター (Electric Machine Architecture Communication)

所在地 岐阜県各務原市鵜沼各務原町7丁目71番地10

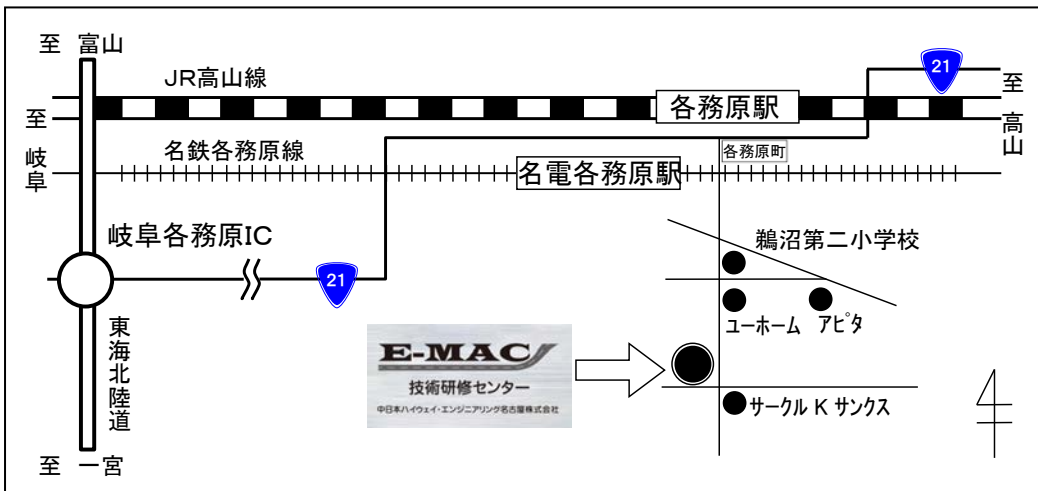
敷地面積 約3,334m<sup>2</sup>

建築面積 約2,151m<sup>2</sup>

延床面積 約2,898m<sup>2</sup>

構造 鉄骨造 (地上2階)

位置図



【電車】JR高山線各務原駅または名鉄各務原線名電各務原駅から徒歩15分

【お車】東海北陸道岐阜各務原ICから約10km18分

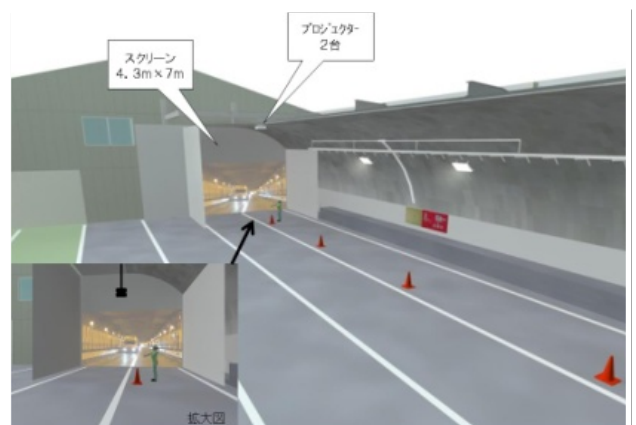
## 展示物の例



実際に使用していた受配電盤



実際に使用していた自家発電設備



3D映像による車両速度感覚の疑似体験施設